

丸徳グループ

車両分科会

だ

よ

り

Vol.16

丸徳グループ各社従業員の皆様
毎日の業務、ご苦労様です。

今月の記載内容は・・・

- ・ 雨の日は事故が多発!!
雨天時に気を付ける7つのポイント
- ・ 車にも防災用品が必要?!
- ・ 愛知県警からのリーフレット

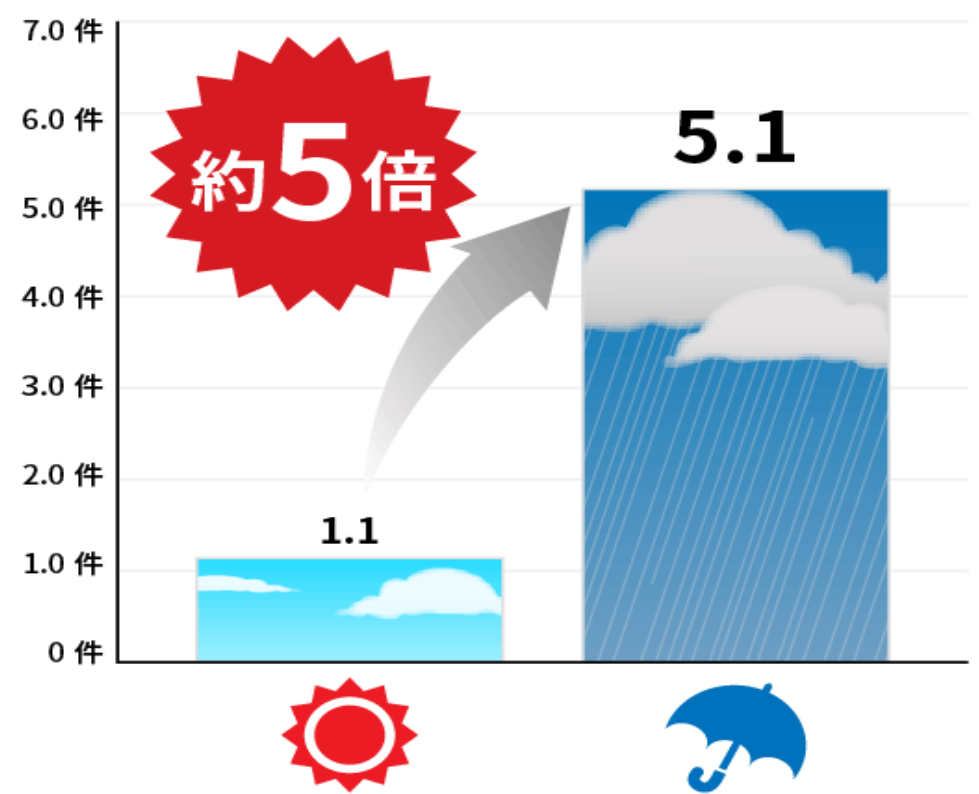
雨の日は事故多発！

雨の日の事故は晴れの日の
約5倍！？

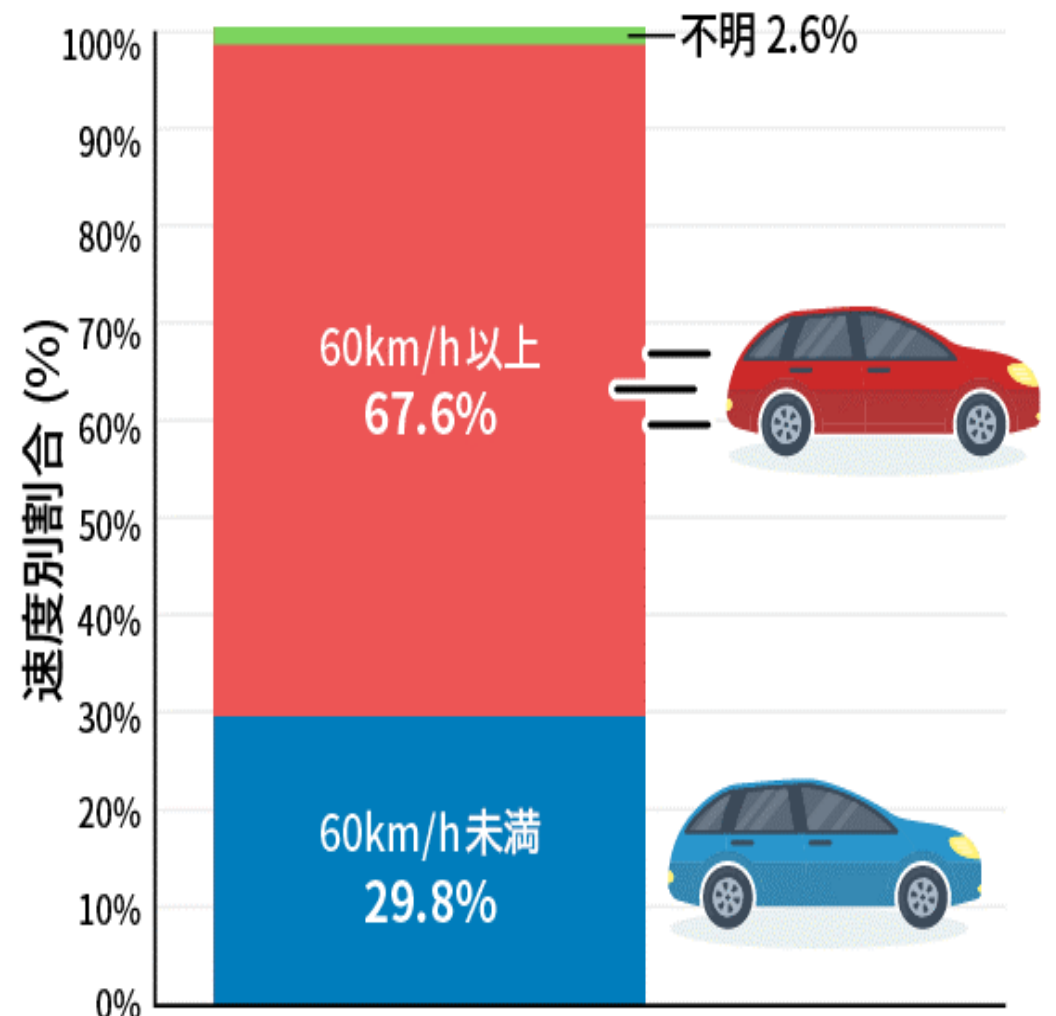
注意すべき点を洗い出し、
対策することで**雨の日の
事故を減らすことができる**
のではないのでしょうか。

多いのは「スリップ事
故」と「視界不良による
事故」
晴れの日は追突事故が多
いのに対し、**雨の日は
ガードレールや建物への
追突、いわゆる「施設接
触事故」**が多いといわれ
ています。

1時間の事故件数こんなに違う！晴れの日と雨の日



施設接触事故割合（速度別・雨天時※）



雨天時に気を付ける7つのポイント

スリップ対策

1. スピードを出さない。
特に**60km/h以上は要注意**。
2. カーブに入る手前では減速しておく。
3. 追い越しや進路変更はなるべく避ける。
4. タイヤの空気圧を適正值にしておく
(ガソリンスタンドで可能)。

視界不良対策

5. ヘッドライトやテールランプを点灯し、
ウィンカーは早めに出す。
6. 車間距離を取る。
7. 特に「右折時の横断歩道」と「夜間」
は細心の注意を。



<まめ知識> 3急運転をしない

急発進・急ブレーキ・急ハンドル運転時にこの3つの動作をしないようにすることで事故の危険度を減らすことができます。雨の日には意識して、**ゆっくり発進・徐々にブレーキ・ハンドル**操作は穏やかに...を心がけるようにしましょう。

防災用品の保管場所

防災用品の保管場所はどのように決めていきますか？

今回は防災用品の保管場所に車を選択する提案と、その理由についてまとめました。また、どんなものが必要になるのかも合わせて確認していきましょう。



1. 「短期間の車内での一時避難」に必要な防災用品

車で外出中に数日間の一時的な避難を余儀なくされる場合があります。**飲料・食料・防寒具・携帯トイレ**などを常備しておきましょう。**長期間保存できる非常用飲料水やロングライフ食品**などが理想です。



2. 車を置いて「徒歩で避難」するときは？

災害の規模によっては、車を置いて「徒歩で自宅や避難所に向かう」ことになる可能性もあります。

徒歩で避難する場合、**ポケットサイズのラジオ・懐中電灯・飲料**は基本として、**軍手**などがあると安全確保にも役立ちます。**防災リュック**にまとめておくとスムーズに持ち出せます。

最後に



人によって必要になるものは変わります。**自分の家庭環境に合わせた準備**が必要です。

日頃から**安心・安全**を心掛け、有事の際の安心材料として防災用品の準備をおすすめします。

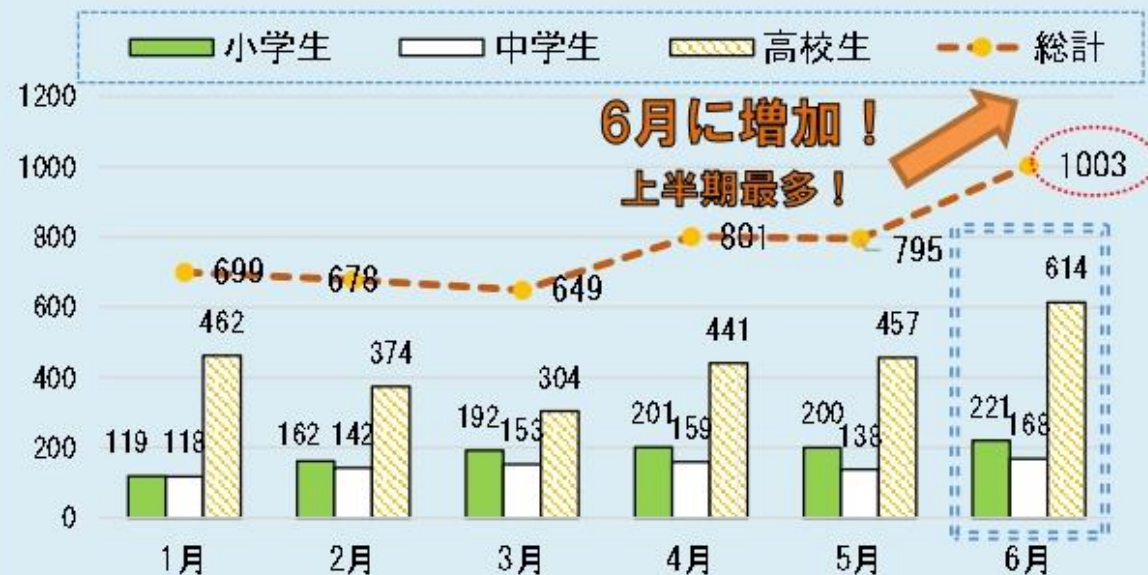
交通事故防止のPOINT

6月

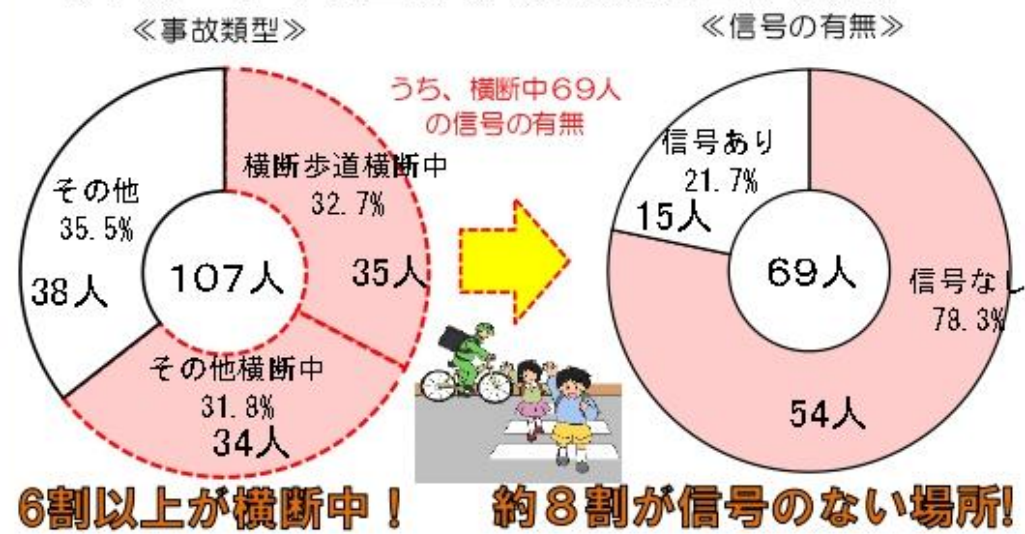


6月は、小学生・中学生・高校生の事故が増加！

《過去5年 歩行者・自転車死傷者数の推移》

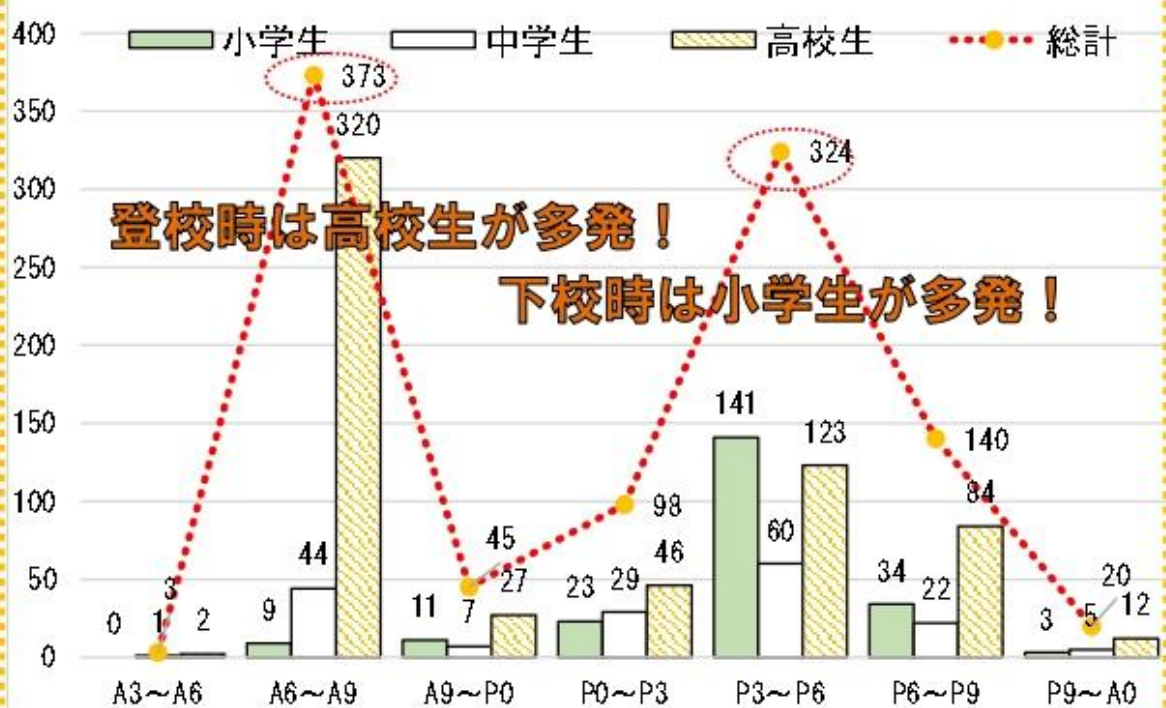


【6月 小中高生の歩行者死傷者の実態】



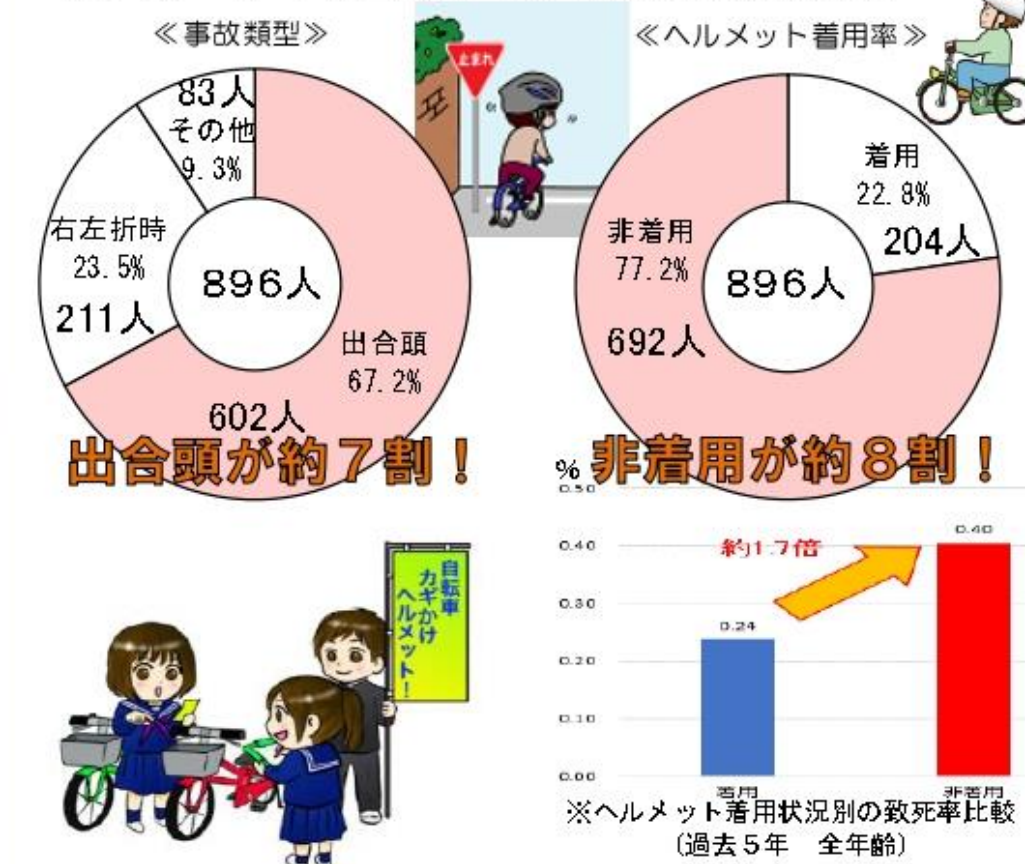
6割以上が横断中！ 約8割が信号のない場所！

【6月 時間帯（歩行者・自転車）】

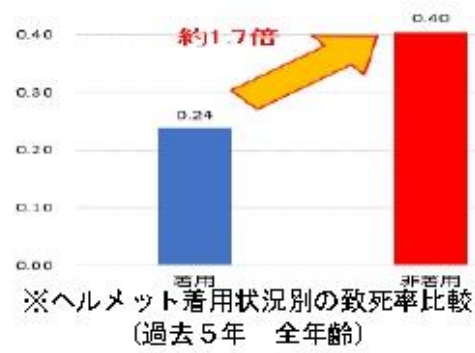


登校時は高校生が多発！
下校時は小学生が多発！

【6月 小中高生の自転車死傷者の実態】



出合頭が約7割！ 非着用が約8割！



ドライバーの方へ

朝・夕の出勤や退勤時間が登下校時間と重なることから、交通事故の危険を予測した「かもしれない」運転で、**見通しの効かない交差点や横断歩道手前での安全確認**を確実に行いましょう。

小中高生・保護者の方へ

道路を渡る時は、横断歩道を利用し、**手を挙げて渡る**など、車に気づいてもらえる行動をとりましょう。渡っているときも、左右の安全を確認しましょう。
自転車に乗る時は、「大人」も「子ども」も**ヘルメットをかぶり**、頭を守りましょう。



6月は、新生活も2か月が経過し、通学・通勤にも慣れが生じやすい季節です。今一度、

- 一時停止など基本的な交通ルールを守り、お手本となる行動をとる
- 子どもの目線で危険な交差点などを一緒に確認するなど、正しく安全な交通行動を実践し事故を防ぎましょう。

※各表は、過去5年（R元～R5）に愛知県内で発生した交通死亡事故等を分析した結果です。